取組事例２　別府市立中部中学校　社会に開かれた教育課程 ／ CSの活性化

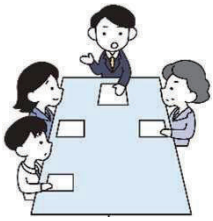
取組概要

- 別府市立中部中学校では、学校教育目標「夢を持ち、自ら学び続ける生徒の育成」の達成に向けて、CSと地域学校協働本部（活動）を一体的に推進し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指している。
- 地域の方による授業「ドリームスクール」、その仕組みとは？

Ⅰ　学校運営協議会の組織（協働の仕組み）

夢を持ち、自ら学ぼう！
中部中ドリームスクール
CHUBU Dream School

学校運営協議会



■構成員

- 地域代表（CS会長）
- 保護者代表
- 地域学校協働活動推進員
- 校長、CS担当教員

地域学校協働本部

人材バンク

- CS会長
- 校長
- 地域学校協働活動推進員
- 地域統括コーディネーター
- CS担当教員
- その他の委員

- 地域学校協働本部を、学校運営協議会の一部として捉える。
- CS会長・校長・地域学校協働活動推進員は、学校運営協議会及び地域学校協働本部の両方に属する。
- 両方の会議に、地域学校協働活動推進員・CS 担当教員が参加することにより、学校運営協議会で議論されたことを実現するためのネットワークづくりと日常のコーディネートを実施。

Ⅱ　学校運営協議会の活性化

①会議運営の改善 ― 協議時間の確保

【会議前】
- 学校の説明資料を、各委員へ事前にメール送付

【会議当日】
- 学校からの説明は10分とし、残りの時間は、テーマを決めて学校の課題について協議（テーマは校長が提案）

②学校運営協議会に生徒が参加

- 実際に中学生と話すことで、学校運営協議会で協議した活動に取り組む生徒の姿がイメージできワクワクしてきました。

CS委員

委員の当事者意識の向上

③CSと地域学校協働活動の一体的推進の流れ

学校	学校運営協議会	学校	学校運営協議会	地域学校協働本部	学校
➢ 学校教育目標 ➢ 目指す生徒像 提示・承認・共有	➢ 生徒のためになる活動を協議	➢ 学校経営方針に合致した取組を選定	➢ 地域学校協働本部へ支援を依頼	➢ 支援の開始	➢ 取組の検証

Ⅲ　「社会に開かれた教育課程」の実現

➢ ドリームスクールを教育課程に位置付け、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。

自ら学べ！ドリームスクール（地域学校協働活動）

■ドリームスクールとは？

➢ 将来や夢を考えるため、地域の方から様々な職業・生き方について学ぶ活動。

➢ 各教科でゲストティーチャーとして授業をする場合と、総合的な学習の時間・特別活動で「夢」をテーマに授業をする場合がある。

	教科＼月	4月	5月	6月	7月	8-9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二年	体験活動～D標S達～学校教育全体で行う		テーマ　これからの社会 SOCIETY 5.0社会 GT　ハイパーネットワーク研究所より				テーマ　ボランティアとしての生き方 GT　●●●●さん		ガバンスクールデイ 合授単位の少人数職業講話 （30名のＧＴ生徒12名）		北京パラリンピック銀メダリスト GT　●●●●さん	夢の実現に近づくための学年全体の少人数グループのドリームスクール （20人程度のＧＴ） ～主体的対話的な授業～
	教科			（国語）　敬語 GT　コンビニ店長 （接待）人の体づくりと働き ＧＴ栄養士	（国語）行書の書き方 GT　書家 （国語）読書生活を豊かに GT　読み聞かせ先生		（社会）歴史　伝統的な産業 GT　伝服屋さん	（道徳）生命の尊さ 生き物の命について考える GT　獣医師・飼育員		（保体）障害の特と応急手当の意義 GT　救急救命士		
三年	体験活動～D標S達～学校教育全体で行う			テーマ　人として生きる”心”で大切なこと GT　●●●●作家 士	夢の実現に近づくための学年全体の少人数グループのドリームスクール （20人程度のＧＴ） ～主体的対話的な授業～		テーマ 命の大切さ　献医師として GT　●●●●さん	テーマ 命の大切さ　献医師として GT　●●●●さん	テーマ　東日本大震災を忘れない GT　●●●●さん ガバンスクールデイ 合授単位の少人数職業講話 （30名のＧＴ生徒12名）			
	教科			性について考える 命について考え性への正しい知識を持つ GT　助産師	（国語）　声を届けるための基本 GT　アナウンサー	（道徳）　社会参画 公共の精神 GT　ボランティア活動にかかわる方	（国語）　平和について GT　戦争経験者 海外の事情に詳しい人	（家庭科）保育の仕事 幼児とのかかわり GT　保育士	（音）日本の伝統音楽の特徴 雅楽しその魅力を味わう GT　箏曲演奏者	（歴）地球の明るい未来のために 最先端技術による共栄を目とせるGTドローン操縦士 （技）よりよい社会をめざして GT新聞記者		